

神のすべての武具を

2024年2月11日

エペソ人への手紙 6章10～20節

序：キリスト者にとってこの世（日々の生活の場）は戦場

∴ 主イエス・キリストを信じて新しい人となった（神の子ども）（聖霊の内住）
古い人（生まれながらの罪人としての性質）との攻めぎ合い
この世（悪魔、悪霊が活発に活動）との対立

敵は人間やほかの生物、自然界ではなく、悪魔（墮落した天使長）+悪霊
目には見えない 神と信者に挑戦
巧妙、策略、罠、死の力を持つ、偽りの父
最終的には滅ぼされる
人や物を通して、信仰者を試し、攻略・攻撃（軟硬使い分けて）

戦いは絶えず、休まず、この地上にいる間は継続する

戦いには武具が必要（神が備えてくださる）

∴ 人間が考案したものは人間同士の戦いには有効、霊の戦いには無益）

I. 戦いへの備え

(1) しっかりと立つため

(2) 神のすべての武具を身につける（防御用）

① 真理の帯（腰） ⇒ 福音+合致した生活・実践

下ごしらえ、最も基本的・優先

身を引き締め、迅速・的確な行動がとれるように

② 正義の胸当て（胸） ⇒ キリストの義+義とされた者にふさわしい態度
心臓を守る

③ 平和の福音の靴（足） ⇒ 神との平和を得た者が福音を携え、伝える
足もとが堅固、機敏に危なげなく移動

④ 信仰の大盾（全身） ⇒ 救いを得させる信仰
悪魔の放つ火矢（鉄の矢じり、火のついた麻布）
貫通すれば、大きな破壊力、命を奪う

⑤ 救いのかぶと（頭） ⇒ 頭のための不可欠な防具
救いがぶれないように、しっかりとかぶる
ずれないよう緒を締める

完璧な防御だけでは勝利はできない

(3) 神のすべての武具を取る（攻撃用）

(1)の④の信仰の大盾も取る武具（ただし、防御用）

⑥ 御霊の剣（神のことば） ⇒ 唯一攻撃用の武器、神から受け取る

例：荒野で悪魔の試みを受けられたイエス マタイ 4・1～10
3回ともみことばによって悪魔を退去させた

II. 祈りなさい

祈りこそ戦いの準備の完結（不可欠）

(1)あらゆる祈りと願いを

一般的なことも個人的なことも

(2)どんなときにも

絶えず、間断なく テサロニケ I 5・17

(3)御霊によって

御霊の思い、ことばによって

私たちの祈りをとりなしてくださる ローマ 8・26～27

(4)すべての聖徒たちのために

(5)目を覚まして、忍耐の限りを尽くして

(6)働き人パウロのために

福音の宣教者（エペソ教会の開拓者）

宣教の同労者（賜物・召命はちがっても）

福音の奥義を伝えるため : 語ることばが与えられるように
臆することなく、大胆に語れるように

尊厳、自制、情熱、的確 伝えるのは自分ではなく、主のメッセージ

現在、獄中にいる、捕らわれの身（ローマ兵の監視、手かせ足かせ）

使節（大使）の役目 = 敵対国、敵対者に和解を促す

III. 結び

(1)戦場に赴く前の入念・十分な身ごしらえ（防御用・攻撃用）、準備をする

(2)敵である悪魔をよく知る（過小評価して侮ることは禁物）

性質・策略・力

(3)自分の無力・無策を自覚する

(4)味方である神を心から信頼する（神 > 悪魔）

(5)最も強力な武器、基本的かつ最重要な備えは祈り

①すべての聖徒のため

②みことばを語る働きに召されている宣教者のため

御霊によって語ることばが与えられるように

大胆に語れるように